

# 角田地区福祉座談会 まとめ

開催日：平成31年2月22日(金)19:00～21:00

## 【当日の流れ】

1. 開会挨拶...角田地区コミュニティ協議会 様
2. 地域福祉活動計画・座談会趣旨説明...西蒲区社会福祉協議会 渡辺
3. ワークショップ
4. 発表
5. まとめと閉会の言葉...西蒲区社会福祉協議会 五十嵐事務局長 西蒲区役所地域福祉係 長谷川係長



## 【ワークショップ：個人ワーク】

質問1 ～角田地区の価値や素晴らしさ・強み・資源にはどのようなものがあるでしょうか？～

⇒多く出たキーワード：住民のつながりが強い、自然が豊か(海・山・農産物等)、子育てする環境が良い

質問2 ～角田地区で生まれ育つ子どもが成長する各段階で抱えるであろう問題は？～

⇒多く出たキーワード：

幼少期(0-5歳)：少子化、保育園に預けられない

少年期(6-14歳)：移動手段(親が車で送迎する必要がある)、習い事に行けない

青年期(15-29歳)：高校通学が大変、大学に通うため地域を離れてしまう

壮年期(30-44歳)：仕事が少ない、就職のため地域を離れていってしまう

中年期(45-64歳)：

前期・中後期高年期(65歳以降)：車を手放すと移動手段がない、買い物ができない



## 【ワークショップ：グループワーク】

⇒各グループで課題となりそうなテーマを1つ選び、10年後の課題、課題解決へのアイデアを協議

### 【1グループ】

テーマ：子どものこと

10年後の課題

小学校の存続

課題解決へのアイデア

働く場所の確保、移動手段の確保、

3自治会(角田浜・越前浜・五ヶ浜)が協力し合う

まとめ・具体的な取り組み

第一歩として全世帯アンケートの実施

### 【2グループ】

テーマ：交通手段

10年後の課題

高齢化が進むと移動手段を失う人が出てくる

課題解決へのアイデア

人口減少を食い止める必要がある

→新しい道路の開発：観光客や転入者増加の期待

→子どもが増えること

まとめ・具体的な取り組み

交通問題に限らず、広い意味で地域の助け合いが必要



### 【3グループ】

テーマ: 移動手段

10年後の課題

現在支えている人が支えられる側になるかも  
課題解決へのアイデア

デマンドタクシー・自動運転車両の導入  
地域で送迎し合うシステムを作る(ワンコイン)

まとめ・具体的な取り組み

助けることができる人を増やしていく  
支えあいのしくみづくり推進員から有償ボランティア  
の取り組みなどを説明してもらう機会をコミセンで設  
ける



### 【4グループ】

テーマ: 交通手段

10年後の課題

公共交通機関減少(利用客が減少したことにより)  
課題解決へのアイデア

乗り合いタクシーの活用・工夫  
道の駅の誘致や、カーブドッチとの共存共栄を考  
えることで観光や買い物を発展させることで地域の活  
性化を図る。

角田浜・越前浜がひとつになって物事を考えていく  
まとめ・具体的な取り組み  
年代を越えた話し合いができる場として「地域福祉  
ネットワーク」を構築する



### 【5グループ】

テーマ: 移動手段(老年期・青年期含めて)

10年後の課題

今現在と大きな変化はないと予想する。  
課題解決へのアイデア  
観光と連携させることで移動手段を発展させる  
人口を増やすための取り組み: 労働の場を増やす、  
若者が集う機会を設ける

まとめ・具体的な取り組み  
住民同士の話し合いを継続的に行っていく



### 【6グループ】

テーマ: 働く場所の確保

10年後の課題

対策を打たないと今後も働く場所は確保できない  
課題解決へのアイデア  
農業法人を中心とした産業間の連携を行い、様々  
な人が関わることで産業の活性化を図る

まとめ・具体的な取り組み  
地域の垣根を無くし、一体となって一歩踏み出す  
誰もが参加できる交流の機会を作る



### 【全体のまとめ】

今回の地域福祉座談会では、幅広い年齢層(子どもから大人まで)の方、多方面で活動されている方、これまで長く角田地区に住んでいる方、移住してきた方など様々な方が集まり話し合いが行われた。

他の地区(コミュニティ協議会のエリア)と比べ大きく異なる点は、地域の魅力が多く挙げられること。課題に対する打ち手についても魅力を活かした具体策が考えられることが目立った。

一方で他の地区と共通して挙げられていた課題は「移動手段・交通問題」。高齢者のみではなく、子どもの交通手段(通学など)も課題が挙げられた。

壮年期の方々(以前から住んでいる方も移住してきた方も)もこれからの角田地区のことを真剣に考えている姿勢がとても印象的で古くから角田地区に住んでいる方との意見交換は非常に活気のあるものだった。

角田地区の3地区(角田浜・越前浜・五ヶ浜)が今後手を取り合い、垣根を越えて協力して地域を創っていくことが必要という声がどのグループでも挙げられた。

地域の宝である子どもたちのためにも今後も地域全体で話し合いを深めていく必要があるように思われる。

H31.2 西蒲区社協: 渡辺作成

